

第4章 公安情勢

右翼等

抗議行動

右翼は、領土問題や歴史認識問題等の諸問題を捉え、活発な街頭宣伝活動等に取り組みました。

中国をめぐるっては、同国が申請していたいわゆる南京事件に関する文書がユネスコ（国際連合教育科学文化機関）記憶遺産に登録されたことを捉え、「ねつ造された南京大虐殺について中国が登録申請を強行した」などと批判しました。

韓国をめぐるっては、「明治日本の産業革命遺産」の世界文化遺産登録に当たり、朝鮮人の強制徴用に関する施設があるとして審議において強硬姿勢を示すなどした韓国の対応や竹島が不法占拠されていることを捉えて批判しました。



抗議行動を行う右翼団体（9月、東京）



街頭宣伝活動を行う右翼団体（2月、島根）

街頭宣伝活動

一部の右翼は、企業等に対して「糾弾活動」と称し、街頭宣伝車を用いて大音量で執ような街頭宣伝活動を行い、騒音被害や交通渋滞を引き起こすなど、市民生活の平穏を害しています。

平成27年中、街頭宣伝活動の糾弾対象となった企業は**約210社**に上っています。

一部の右翼は、今後も市民生活の平穏を害するこうした街頭宣伝活動を行うとともに、取締りや仮処分命令を免れるため、名指しを避けて企業糾弾を行うなど、活動方法を一層巧妙化させるものとみられます。

違法行為の検挙

■ テロ等重大事件の未然防止に向けた違法行為の検挙

27年中、「テロ、ゲリラ」事件の発生はみられませんでした。

警察では、右翼によるテロ等重大事件を未然に防止するため、各種情報の収集・分析を推進し、拳銃等の銃器摘発に努めています。



街頭宣伝活動に対する取締り (8月、東京)

■ 右翼による違法行為の取締り

27年中の右翼による違法行為（右翼関係事件）の検挙件数・人員は、**1,485件1,527人**でしたが、これらの検挙事件のうち、**資金獲得を目的とした恐喝事件や詐欺事件**等の悪質な犯罪の検挙は**168件180人**に上り、道路交通法違反を除く全検挙件数(544件)の**約31%**を占めました。

また、市民の平穏な生活を害する**悪質な街頭宣伝活動**に対しては、その内容や形態を捉え、名誉毀損等により**26件50人**を検挙しました。

警察は、右翼による違法行為に対し、引き続き徹底した取締りを行うこととしています。



街頭宣伝活動に対する取締り (8月、宮城)

第4章 公安情勢

右派系市民グループをめぐる動向

■ 右派系市民グループをめぐる情勢

27年中、「在日特権を許さない市民の会」を始め、極端な民族主義・排外主義的主張に基づき活動する右派系市民グループは、韓国や北朝鮮との問題等を捉えた徒歩デモや街頭宣伝活動等に各地で取り組み、全国における徒歩デモは約70件に及びました。

また、右派系市民グループの活動に対して抗議する勢力（以下「反対勢力」という。）が、一部の参加者による過激な言動について、「ヘイトスピーチ」であると批判するなどして、抗議行動に取り組みました。

右派系市民グループは、引き続き、内外の諸問題に敏感に反応し、徒歩デモ等により自らの主張を訴えるものとみられ、その過程で、反対勢力とのトラブルから生じる違法行為の発生が懸念されるほか、外国公館等に対する抗議行動を継続するものとみられます。



右派系市民グループのデモ行進（5月、東京）

■ 違法行為の取締り

警察は、右派系市民グループと反対勢力とのトラブルから生じる違法行為の未然防止の観点から、厳正公平な立場で必要な警備措置を講じています。

26年9月に都内の路上において、デモ行進中にデモに反対する男性を金属製の棒で突くなどしたとして、右派系市民グループの男を27年5月に**暴行罪で逮捕**しました。

警察は、引き続き、違法行為を認知した際には、法と証拠に基づき厳正に対処していくこととしています。



右派系市民グループのデモ行進（12月、東京）